

## 株主メモ

### 【事業年度】

毎年11月1日から翌年10月31日まで

### 【定時株主総会】

毎年1月

### 【基準日】

毎年10月31日

### 【株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関】

大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

### 【株主名簿管理人事務取扱場所】

東京都中央区八重洲二丁目3番1号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

### 【郵便物の送付先または連絡先】

〒183-8701  
東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 ☎0120-176-417

#### ※株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡下さい。

#### ※特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

### 【株式に関するお手順のホームページURL】

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

### 【公告方法】

電子公告によって(電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して)行います。

## IRページのご案内

当社では、月次売上速報や決算短信などをホームページ(<http://www.his.co.jp>)で公開しております。最新情報を適時掲載しておりますので、ご利用下さい。

## 単元未満株式の買取及び買増制度

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の場合、当社に対して買取請求(売却する)及び買増請求(買増して1単元の株式(100株)にする)ができます。お手順の詳細は、株主名簿管理人の事務取扱場所にお問い合わせ下さい。(証券保管振替制度をご利用の場合は、お取引の証券会社にお問い合わせ下さい。)

## 株主様ご優待のお知らせ

当社、株式会社クオリタ及び株式会社クルーズプラネットの商品にご利用いただける株主優待券を、株主の皆様にご用意しております。対象は、毎年4月及び10月の末日現在において、株主名簿に記録のある100株以上の株式を所有されている株主の皆様となります。



100株以上 …… 2枚  
500株以上 …… 4枚  
1,000株以上 …… 6枚

今回より、株主優待券の券面額を1枚1,000円といたしました。お送りする株主優待券は来年(平成24年)の7月31日までご利用になれます。

ご利用にあたっては、ご予約された営業所にご持参またはご郵送下さい。また、当社の商品券「SKY」と併用してご利用することもできます。



株主・投資家の皆様へ

# H.I.S. Interim Business Report

第31期(平成22年11月1日から平成23年4月30日まで)



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、このたびの東日本大震災により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

皆様にH.I.S. Interim Business Reportをお届けし、上半期の当社グループの事業活動をご報告申し上げます。

平成23年4月30日までの6か月間を振り返りますと、日本経済は、景気に持ち直しの動きが見られたものの、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況で推移しました。加えて、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災以降は企業の生産活動の停滞が懸念されるなど、事業環境の先行きには不透明感が増しております。旅行業界におきましては、平成22年10月の羽田空港国際線の拡張や円高傾向の継続などにより、増加基調となりましたものの、東日本大震災の影響を受け、日本政府観光局(JNTO)による日本人出国者数(推計値)は、前年同期比約0.4%減(約3.5万人減)の約785万5千人の見込みとなっております。

このような経営環境の中で、当社グループでは、主力のセグメントであります旅行事業において、旅行商品の「安全」と「安心」、そして「品質」の向上に努めつつ、本書のTopicsに記載させていただいております各種の施策を展開しました。

以上の結果、東日本大震災による旅行取消などの影響はあったものの、旅行事業の海外への送客数につきましては、前年同期並みを維持することができました。また、お客様がご利用された商品の平均単価も増額となった結果、売上高は1,690億48百万円となりました。利益面につきましては、前期まで残高がありました長期為替予約契約が終了したことに伴う原価率の改善、利益管理の進展、生産効率を重視した営業展開などが寄与し、営業利益39億8百万円となりました。

連結業績につきましても、テーマパーク事業を運営するハウステンボス株式会社では季節に応じたエンターテインメントやイベントに加え、きめ細かな営業施策がお客様にご好評頂き、大幅に入場者数が増加いたしました。その結果、売上高58億14百万円、営

業利益2億48百万円となり、上半期としては初の営業黒字を達成いたしました。ホテル事業につきましても、顧客満足や収益性の向上に努めた結果、売上高12億13百万円、営業利益57百万円となり、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,759億23百万円(前年同期比114.1%)、営業利益34億15百万円(同144.6%)となりました。また、受取利息などの営業外収益により、経常利益は43億43百万円(同217.7%)となりました。また、有価証券の一部売却による売却益の発生により、四半期純利益は45億71万円(同246.0%)となりました。

日本経済の先行きにつきましては、東日本大震災の影響による生産活動の減退や福島第一原子力発電所の事故に伴う電力制限、先行きの不透明感による消費者心理の冷え込みなどの影響により、一時的な停滞が懸念されます。旅行業界における海外旅行需要も、日本経済の先行きに大きく左右されると思われますものの、円高傾向の継続や羽田空港国際線拡張、企業の夏期休暇長期化の流れなどにより、直近の動向を見ましても大幅な減少は無いものと予想されます。

当社グループは、主力の旅行事業において、独自の強み(品質管理体制・専属担当者制・海外サポート体制・価格面・商品ラインナップなど)を積極的な広告展開で訴求しながら営業強化を行い、商品品質やサービスの向上に一層努め、より多くのお客様に安心してご旅行を楽しんでいただけるよう、様々な施策に取り組んでまいります。また、ホテル事業においては、今夏に「ウォーターマークホテル長崎・ハウステンボス」の開業も予定しており、テーマパーク事業を運営するハウステンボス株式会社では、4月運行を始めました「ONE PIECE“サウザンド・サニー号”inハウステンボス」など、今後も様々な新しい取り組みを進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

代表取締役社長 平林 朗



## 連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成23年4月30日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>87,002</b>	<b>流動負債</b>	<b>51,007</b>
現金及び預金	50,243	営業未払金	13,161
売掛金	8,799	旅行前受金	25,402
営業未収入金	5,629	その他	12,442
旅行前払金	14,439	<b>固定負債</b>	<b>7,760</b>
その他	7,890	<b>負債合計</b>	<b>58,767</b>
<b>固定資産</b>	<b>32,618</b>	純資産の部	
有形固定資産	9,977	<b>株主資本</b>	<b>55,904</b>
無形固定資産	2,854	資本金	6,882
投資その他の資産	19,786	資本剰余金	7,782
		利益剰余金	43,761
		自己株式	△2,522
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>2,711</b>
		<b>少数株主持分</b>	<b>2,260</b>
<b>繰延資産</b>	<b>22</b>	<b>純資産合計</b>	<b>60,876</b>
<b>資産合計</b>	<b>119,643</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>119,643</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成22年11月1日から平成23年4月30日まで) (単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,811
投資活動によるキャッシュ・フロー	108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,822
現金及び現金同等物に係る換算差額	△118
現金及び現金同等物の減少額	△3,644
現金及び現金同等物の期首残高	46,340
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	289
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の減少額	△166
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>42,819</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (平成22年11月1日から平成23年4月30日まで) (単位:百万円)

科目	金額
売上高	175,923
売上原価	142,147
売上総利益	33,775
販売費及び一般管理費	30,360
営業利益	3,415
営業外収益	1,042
営業外費用	114
経常利益	4,343
特別利益	3,274
特別損失	506
税金等調整前四半期純利益	7,111
法人税等	2,223
少数株主損益調整前四半期純利益	4,888
少数株主利益	317
四半期純利益	4,571

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## インターネットを利用した旅行販売

平成22年12月に、当社ホームページの全面リニューアルを行いました。このリニューアルでは、過去にご利用いただいたお客様のご意見をもとにしたサイト分析を行い、ユーザビリティの一層の向上を図りました。日本人マーケット以外への対応としまして、世界のホテル予約が可能な中国語(簡体字)サイト「去度假(チューデュージャ)」を平成22年11月にオープンし、中国人向けマーケットにおいて、世界のホテル予約が一層手軽にできるようになりました。同時に、「国内の宿・ホテル」検索サイトにつきましては、大手宿泊サイト3社と連携するなど拡充を図り、モバイル版の新規オープン(平成23年2月)も行うなど、国内宿泊予約の利便性向上に注力しました。スマートフォンを活用した自動予約機能や情報提供機能の強化も進め、インターネットを利用した旅行販売は全般的に好調に推移しました。多様化するお客様ニーズにお応えするため、これからも重要な販売及びマーケティングチャンネルとして強化を図ってまいります。



▲ HP(トップページイメージ)  
http://www.his-j.com



▲ 去度假(チューデュージャ)



## 法人・団体旅行の強化

強化分野であります法人・団体旅行では、官公庁を専門に扱う店舗の移転拡張、法人様向けの新規店舗の開設(東京・品川、茨城・つくば)を行うなど、引き続き積極的な営業展開を行いました。また、平成22年12月には、法人様向けの専用予約システムが本格的に稼働を開始したこともあり、法人・団体旅行は順調に取り扱いを伸ばしました。しかしながら、東日本大震災以降、法人様の出張自粛などにより、法人・団体旅行は最も影響を受けましたが、下期に向けては回復基調となっております。今後は営業基盤の強化に加え、収益性の向上にも努めてまいります。また、2012年ロンドンオリンピックのJOC公式代理店に決定しましたので、商品の造成・販売に向けた取り組みにも注力してまいります。

## 販売チャネルの展開

旅行子会社の吸収合併や専門部署の子会社への移管など、効率的な運営を行うことができるよう店舗網の再配置を続け、販売体制の見直しを実施しました。その一方では、細かなコンサルティングを必要とする海外挙式を専門に扱う「アバンティ&オアシス」の新規店舗の開設(東京・池袋)、ニーズを見据えた24時間営業店舗の開設(東京・新宿)、カウンターでの対面形式ではない新たな接客スタイルの店舗開設など、商品流通体制の見直しを実施し、販売体制の一層の強化を図りました。



▲ 海外挙式専門店の拡充(写真は新宿グランドサロン)

## 新規商品展開

商品展開としては、羽田空港国際線や新規乗り入れのローコストエアライン(LCC)を利用した新たな海外旅行商品の造成・販売に注力するなど、旅行需要の創出に努めました。また、平成23年3月から運航を開始した「ビジネスエアー」(タイのチャーター便専門の航空会社)を利用するパッケージツアーを企画し、航空券の独占販売を開始するなど、様々な取り組みも推し進めました。これからは当社グループ独自の付加価値とオリジナリティを訴求した商品の展開を行ってまいります。

## プロモーション活動

新春恒例となっております年明けの「初夢フェア」に、人気アイドルグループ「AKB48」を起用したプロモーションを実施いたしました。また、春休みのご旅行を検討されている学生のお客様向けには、学生旅行を強力にバックアップする特別企画を多数ご用意するなど、積極的な販売促進活動を行いました。



▲ 機内イメージ

▲ ビジネスエアー



▲ 人気アイドルグループ「AKB48」





サンパウロ支店 ▲

## 海外展開

平成23年4月に、南米初のサンパウロ支店(ブラジル)をオープンするなど、引き続き拠点の拡充を図りました。また、海外拠点から、インターネットを利用したホテルやオプションツアーのダイレクト販売を強化し、順調にお客様のご利用数を伸ばすことができました。さらには、中国を含めたアジア圏中心に、日本人以外のお客様にも海外現地発の旅行を提供していく業務を引き続き強化しました。

## ハウステンボス

テーマパーク事業を運営するハウステンボス株式会社は、平成22年10月開催の「ガーデニングワールドカップ2010ナガサキ」、平成22年11月からスタートした700万球の東洋一のイルミネーションが街を彩る「光と闇の王国」や「花の王国」の開催など、季節に応じたエンターテインメントやイベントに加え、きめ細かな営業施策がお客様にご好評を頂き、大幅に入場者数が増加しました。その結果、上半期としては初の営業黒字を達成することができました。

今後は、平成23年4月運航スタートの「ONE PIECE “サウザンド・サニー号” inハウステンボス」や感動映像アトラクション「5D MIRACLE TOUR」のオープン、「ハウステンボス元気祭り」開催(7月16日開幕)など、引き続き新たな取り組みを進めてまいります。



▲花の王国



光と闇の王国 ▲



サウザンド・サニー号 ▶

©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション



<http://www.huistenbosch.co.jp/>

### 震災支援活動への取り組み

東日本大震災後、当社グループは『ハート・イン・ザ・ボトル』キャンペーンを行って、海外から帰国されるお客様にペットボトル入りの飲料水のお持ち帰りをお願いし、お預かりした飲料水や乾電池などの生活必要物資を被災地へ直接お届けするほか、4月30日までにご予約いただいた旅行商品の収益の一部を寄付すること、さらには被災された皆様へ「被災者支援プラン(海外ツアー)」の発表を行うなどの被災地支援を進めてまいりました。今後も、旅行会社として可能な被災地復興支援を行ってまいります。

## 株式の状況

発行可能株式総数	88,551,450 株
発行済株式の総数	34,261,468 株
株主数	9,755 名

## 大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
澤田 秀雄	9,596	29.59
シービーニューヨーク オービスエスアイシーアーヴィー 有限会社 秀インター	3,364	10.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,690	5.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,578	4.87
シービーニューヨーク オービス ファンズ	1,181	3.64
澤田 まゆみ	890	2.75
エイチ・アイ・エス従業員持株会	690	2.13
行方 一正	515	1.59
ザ チェース マンハッタン バンク エヌイー ロンドン エイシーエス レンディング オムコバ アカウ	510	1.58
	379	1.17

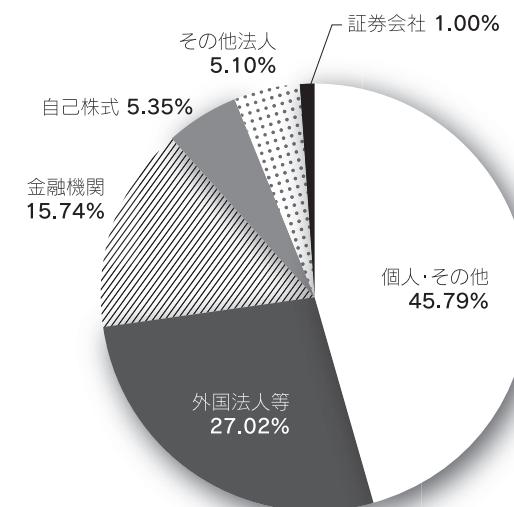
(注) 当社は自己株式(1,834,058株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 会社概要

商号	株式会社 <b>エイチ・アイ・エス</b>
英文社名	H.I.S.Co.,Ltd.
本店	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	昭和55年12月19日
資本金	68億82百万円
従業員数	4,385名(この他に、契約社員、見習社員、アルバイトが在籍しております。)
主要な事業内容	当社は、旅行業法に基づく旅行業(観光庁長官登録旅行業第724号)を営んでおり、海外旅行業務及び国内旅行業務に従事し、航空券の取次販売、手配旅行、企画旅行及びこれらに伴う現地手配と渡航手続並びに旅行傷害保険の代理業務を行っております。
国内・海外拠点数	国内 273店舗/海外都市88都市 114拠点 (平成23年5月現在)
ホームページ	<a href="http://www.his-j.com">http://www.his-j.com</a>

## 株式分布状況

### 所有者別株式分布状況



## 会社役員

代表取締役会長	澤田 秀雄
代表取締役社長	平林 朗
常務取締役	楠原 成基
取締役	高木 潔
取締役	和田 光
取締役	中森 達也
取締役相談役	行方 一正
取締役	平田 雅彦
常勤監査役	三上 幹夫
監査役	梅田 常和
監査役	山本 克

(注) 取締役 平田雅彦氏は、社外取締役であります。監査役 梅田常和氏及び監査役 山本克氏は、社外監査役であります。